東輝

みどり市立大間々東中学校
学　校　通　信
令和３年１１月８日　第１３号

学校評価アンケート自由記述欄について

学校通信第１１号において学校評価（中間評価）の結果についてお知らせいたしましたが、本校では評価に伴うアンケートに自由記述欄を設けております。発信が遅くなってしまいましたが、今号では、記述内容の概要や今後の対応等についてお伝えいたします。

まず、自由記述欄には多岐にわたる内容に関する記述がありましたが、生徒も含め、学校の取組に対する肯定的な記述が多く見られ、たいへんありがたく感じております。

一方で、学校として検討を要する内容が記述されているものもあります。特に、ご意見やご要望の代表的な内容では、「学力向上」「教育相談」「部活動」「学校行事」「学校からの情報発信」「安心・安全」等の在り方に関する記述がありました。また、項目によっては相反するご意見が書かれている内容もありますが、これらの記述を学校の取組を改善するための貴重なご意見として捉え、よりよい学校づくりに向けた取組を推進していきたいと思います。なお、学校のみでは対応ができないこともありますので、検討を要する内容については、総合的・多面的な視点を踏まえて方向性を決定していきたいと思います。

また、記述内容が多岐にわたっていることや紙面の都合等もあり、全ての内容についての回答はできませんが、記述内容について職員で共有し、同一歩調で対応していきたいと思います。

以下は、生徒及び保護者アンケートに記述のあった主な内容ですが、同一内容のものは集約したり、原文のままでなく要約したりしております。学校通信第１１号に記載した内容との重複を避けるため割愛・要約しているものもあります。現時点での学校の対応状況やご家庭への依頼事項等となっておりますが、今後、更に具体的な対応等が決定しましたら、必要に応じて情報発信していきたいと思います。

肯定的な記述の概要（生徒・保護者）
○学校スローガンである挨拶がしっかりできているところがいい。
○上級生と下級生に大きな上下関係がないところがいい。
○先生が子供たちのことを真剣に考えていただけているので安心である。
○先生方のメリハリのある雰囲気づくりにとても感謝している。
○先生達と生徒の距離がよく話しやすい環境がとれていると思う。
○素朴で素直な生徒が多く、落ち着いた雰囲気が学校の良さになっていると思う。
○子どもが学校の話をよくしてくれるようになった。先生と子どもたちの面白おかしいやり取りの様子がうかがえ私も子どもの話を楽しみにしている。
○相談しやすい先生が多く、担任の先生も、話しやすくとても良いと思います。
○先輩達と仲良く接してもらえているようで、中学校生活は楽しいと言っている。
○「デイリーライフ」での担任とのやり取りはとても良い取り組みだと思う。コミュニケーションが好印象である。
○感染症等の規制がある毎日だが、生徒達が安全に登校できるよう、色々と尽力してくれている思う。

ご要望・ご意見等の主な内容	今後の方向性・保護者や地域の方への協力依頼等
□担任と教科担当間で生徒の様子の報告・連絡・相談を密にしてほしい。	中学校は教科担当制のため、担任ばかりでなく他教科の授業での様子、部活動の様子など、たくさんの情報共有が必要です。学校では定期的に情報共有する各種会議等が設定されていますが、今後も更に密に情報共有ができるよう努めます。家庭内でも心配な様子が見られる場合は、遠慮なくご相談ください。
□学習評価の在り方を検討してほしい。	６月に配布した通知のとおり、今年度から新教育課程が全面実施され評価の観点も変更されましたので、国や県から出されている資料に基づいて評価に関する研修を行っています。今後も引き続き妥当性・信頼性の高い評価となるよう努めます。
□進級時に生徒の情報を確実に引き継いでほしい。	記録に残したり多重チェックをしたりするなど、重要な情報が遺漏なく次の学年に引き継がれるようにしていきます。三者面談の際などにも、必要に応じて保護者の方からのご確認をお願いいたします。
□ハーフパンツを性別に関係なく同じものにしてほしい。	現在、男女のハーフパンツの色が男女別になっていますが、なにか問題点はないか確認するとともに、取扱い業者とも相談しながら、同一の色にしていく方向で検討を進めます。なお、そうなった場合は期間を決めて移行措置を講じる予定です。
□給食の増量、補食等の許可をしてほしい。	学校給食については国が定めた実施基準があり、必要な量についても個人差があります。残量調査なども行っていますがフードロスとの兼ね合いや衛生面などを総合して適切な量が配給されていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
□靴下・靴の色について検討してほしい。	近隣の学校の状況なども調査中ですが、現状ではどの中学校もほぼ同様の対応となっており、本校も現在の対応を継続していきたいと考えております。なお、校則に関わることは様々な見方や考え方があるとともに、多面的に考えていく必要があるため、今後も慎重に議論を進めていきたいと思います。特に、教育効果や経済的負担との兼ね合い等も考慮する必要がありますので、学校評議員さんやＰＴＡ本部役員さんなどの意見も踏まえながら検討を重ねていきたいと思います。
□部活動中の給水などの熱中症対策、大会の観戦者数などコロナ対策を実態に応じて講じてほしい。	熱中症について特に心配しなければならない時期ではなくなりましたが、熱中症ばかりでなく新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなども含め、今後も県や市の方針も踏まえながら、その時期に必要な安全対策について十分な配慮を行いながら教育活動を行っていきたいと思います。
□定期テストの範囲が明確に伝わるようにしてほしい。	定期テストにおける一部の教科において範囲の伝え方に不明瞭な点があったことをお詫びいたします。生徒の不利益にならないよう対応いたしました。今後は明確な伝え方となるよう配慮いたします。
□学業ばかりでなく部活動などについても、子どもたちの心境の変化や葛藤など、心情に寄り添った教育を更に推進してほしい。また、部活動の顧問不在の時間が	上表のように「デイリーライフ」にコメントを書くなどして、子どもたちの状況を踏まえながら個に応じた対応の充実を心掛けています。部活動についても顧問の不在時間ができるだけ少なくなることを原則としていますが、出張や会議への出席、授業や学校行事の準備といった理由により人員が足らなくなる状況も出てきてしまうため、指導や教育相談の時間を十分に確保しづらい実情もあります。「子どもたちと向き合う時間の確保」や「教材研究の時間の確保」は本校ばかりでなく、全国的な課題となってお

少なくなるよう配慮してほしい。	りますので、校務の効率化や行事の持ち方等の検討も継続しながら、これからも「子どもたちと向き合う時間の確保」に努めるとともに、優先的に時間を割く必要がある業務に十分な時間を充てられるよう改善を図っていきたいと思います。
□学校への持参物の連絡をわかりやすくしてほしい。	特に入学直後などは学校で必要なものがわからないことが多いので、各種通信やメール配信なども有効活用できるよう配慮しながら、早めの連絡を心掛けます。
□コロナ禍の状況下における学校からの情報発信を充実してほしい。	感染症が収束局面にあるため、徐々に保護者の方々が学校へ来る機会が増えていくと思われますが、学校通信第１１号に記載したとおり、子どもたちの様子について、各種媒体を活用しながら発信を充実していきたいと思います。プール指導の扱いについてのご指摘もありましたが、コロナ禍の状況によって通常とは異なった実施方法について事前の情報提供が不十分だった面もありましたので、早期の情報提供を行ってきたいと思います。
□学校行事の持ち方を工夫してほしい。	昨年度末から始まったコロナ対応により、学校行事等が中止、延期、縮小といった対応が続いていますので、これまでの学校通信等でもお伝えしてきたとおり、「生徒の成長の機会」と「感染症対策のバランス」を考慮しながら、学校行事の在り方について検討し、方向性を決定していきたいと思います。なお、９月１４日付の通知に記載した行事については、日程や実施方法は変更になる部分がありますが、現時点では全て実施する方向です。
□学習に関する質問等の時間の確保と、学習方法の指導を充実してほしい。	学校通信第１１、１２号に記載したとおり、学力向上は学校の大きな使命の一つです。補習の充実など、今後も可能な限り個々の生徒のニーズに応じた対応を心掛けるとともに、授業改善に向けた取組も継続していきたいと思います。また、学習方法については「家庭学習の手引き」を配布してありますので、そちらもご参照ください。また、三者面談の際には「放課後勉強会」の時間を設定します。休み時間などに質問に来る生徒も見受けられますので、今後も学習に関する質問等がある場合は、各担当の先生に積極的に声を掛けていただければと思います。
□タブレットを更に有効活用できるようにしてほしい。	１学期や夏休みにタブレットの持ち帰りが試行されましたが、タブレットがより効果的に活用されるようにしていきたいと思います。詳細は別途通知を配布する予定ですのでそちらをご覧ください。
□自転車通学を許可してほしい。	自転車通学の許可については、継続的にご意見として挙げられている内容です。開校以来ずっと本校は徒歩通学ですが、把握できる範囲でこれまで保護者の方々に徒歩通学を継続する理由としてご説明してきた主な内容は、「学区が比較的狭いこと」「不審者と自転車による交通事故の危険性との比較の結果、交通事故の発生の可能性の方が高いこと」「駐輪場がなく設置するには場所の確保や多額の公費が必要となること」などです。不審者に関する対応としては、昨年度の学校通信にも「登下校時においては、『不審者対策』はもちろん、『自転車による交通事故』も大きな課題となっております。市内の小中学校の交通事故は、そのほとんどが自転車による事故で、その原因は一時不停止や飛び出しなどです。本校は、学校区が狭く、全員が徒歩通学を実施しているため、交通量の多い交差点等の危険個所はありますが、昨年度も今年度も登下校時の交通事故は発生しておりません。下校時は極力明るい道を選んで下校させたり、複数での下校を奨励したりしていま

	す。また、定期的に青パトの巡回や補導等の協力をいただくとともに、不審者情報が寄せられた場合は、警察だけでなく、職員による登下校時のパトロールなども実施しています。もし、下校後にお子様から不審者情報があった場合は、直ちに保護者から警察への連絡を行ってください。併せて学校への連絡もお願いします。また、下校時に暗い場所がある場合は、街灯の設置について区長さんや警察等、関係諸機関の協力を得ながら対応していきます」との記述があります。 上記の内容を踏まえ、今後も生徒への安全指導を充実するとともに、関係機関等との連携や安全確保に向けた依頼等についても継続的に行いながら徒歩通学を継続したいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
□朝練の在り方を検討してほしい。	感染症により部活動自体が中止となっていましたが、駅伝大会の練習を実施するとともに、１２月２日に予定されているマラソン大会までは希望者が朝練（早朝マラソン）に取り組めるようにしていきたいと思います。なお、来年度に向けて、朝練の在り方を再検討し、年度の始めから適用していく予定です。
□下校指導の在り方を一考してほしい。	主に不審者対応といった安全面への配慮から完全下校の時間が遵守できるよう指導を行っていますが、下校時の声掛けについても注意を払っていきたいと思います。
□トイレのにおいを何とかしてほしい。	９月末をもって南校舎１～４階と体育館トイレの改修が終了し、南校舎１階と体育館には障害者用のトイレも設置されました。来年度は北校舎のトイレ改修が予定されています。今後何十年にわたって使用するものであり、多額の公費が使われていますので、生徒へも大切に使うよう指導していきたいと思います。

全員が納得する在り方はなかなか見付からない場合が多くありますが、地域や家庭・保護者の皆様、職員が手を携え、知恵を出し合いながら子どもたちの生きる力の育成につなげていければと考えておりますので、これまでの経緯や実情もご賢察の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

職員紹介

■発信が遅れましたが、９月に産休に入った小田島教諭に代わり、１０月より全学年の美術科の指導を行っている先生の紹介をいたします。

- 前島　美江　先生　　※火曜日と金曜日の勤務となります。

■また、新型コロナウイルス感染症の影響により、本校のＡＬＴが２学期始めから不在となっておりましたが、１１月４日より本校に着任しましたのでお知らせいたします。

- ＤＥ　ＫＥＩＪＺＥＲ　　ＤＡＮＩＥＬＬＥ　　ＫＩＭＢＥＲＬＥＹ　　先生
  （デ　ケイザー　　ダニエル　　キンバリー）

よろしくお願いいたします。